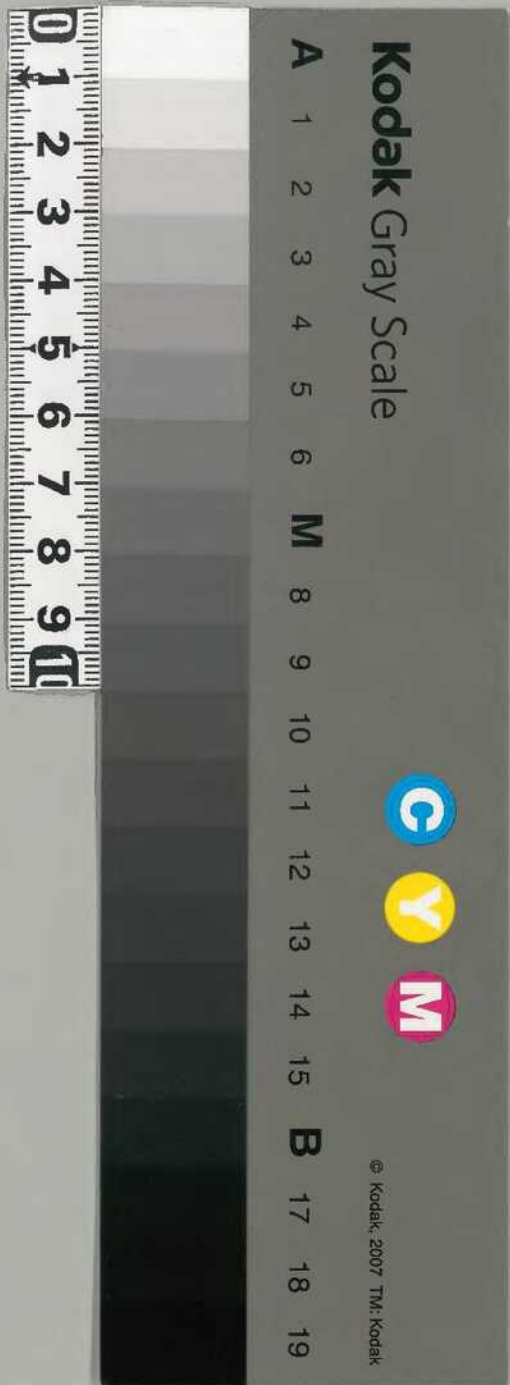


大乘院寺社雜事記 十一

古文書
二七函共
五一四號

内閣文庫	
番號	和 21122
冊數	16冊 (11)
函號	古 27 514

大乗院寺社雜事記





日政書庫

二九ノ三

六百八十九

寛正二年七月

第十一

寺社雜事記
付院家并
安位寺殿寺務

十一

林縣 官校 同本 家 年 記

陽州 九 五

十一

寛正二年七月日

常乃五子心

養正
寺社雜事記

付院家并安徳寺教寺格

大乗院



寛正二年七月



第十一
寺社新事記

付院家并女位寺の寺者

大藏

大藏

大藏

大藏

大藏

大藏

大藏

大藏

大藏

大藏

一 辨法行王辨大外事

一 善觀在日法依

一 法華舍放請事

一 水慈德了持卷

一 同新德

一 竹内了少法卷二及

一 寺内同明事

一 法中安拜用也

一 仁王相住德

一 大重院法慈日

一 坪江法宗

一 河原老去寺

一 予夢相中

一 一物徳也

一 寺内中祈禱

一 八朝事

一 同門中法

一 昭學名海

一 初願法

一 志願同

一 佛地院

一 無事所法

一 并山有教寺

一 七月廿七

一 寺内祈雨事

一 長樂金

一 東大寺

一 中山法

一 室津法

一 法次

一 喜樂法

一 初世系

一 并山道

一 揚子法

一 月三

一 并山

一 自法

一 河原

一 寺新

一 順意

- 一 河口村のあまきり
- 一 社及多分
- 一 新代郡
- 一 竹井寺松有
- 一 海江榮大領下
- 一 林京法流
- 一 猪原松有

- 一 同及同
- 一 左京法流
- 一 松原寺
- 一 松有
- 一 猪田京大
- 一 法京法流

- 一 法京法流
- 一 三野之油
- 一 古平流
- 一 林法流
- 一 寺法流
- 一 大寺寺
- 一 寺法流
- 一 法流
- 一 末法塔田
- 一 河口不作

- 一 社司
- 一 辰平末
- 一 千部
- 一 海洲
- 一 法京法流
- 一 寺法流
- 一 三橋
- 一 寺法流
- 一 寺法流
- 一 寺法流
- 一 寺法流

法

Handwritten text in Japanese characters, likely a signature or date, located on the right edge of the right page.

寛正二年七月一日

一 辨壹仁王辨方及女位等政前大徳止
律所
律所

一 辨三死予の之辨致成下如真白平之

一 江州依五部清浄法物並之

一 佛地住下日決心出年終之平之

田名終之故之平之
田名終之故之平之
田名終之故之平之

七月一日
平之

平之

一 千美江邊所系承信如

一 辨力日法物之及如別之

一 若無名有改依五合別之

二日

一 辨兼新事自宗起之為合無之日法物川事

大垂迄家龍字申
事早力守謹徒不

大心定之

七

此可被全領知此知件

宣正三年四月七日

大妻院家前主下知前田

河口庄高座所立寺早乞

今月七日沙利之者可被伴口

伏者入部之申而被作下物也

如件 宣正三年四月十日右筆全判

杉王波

一 伴部備申有夫而日被烟下 少時病同去可謂

一 依十念逆成諸法改之入之也考之

一 法名標字得法之如詞理達之此布奉割由下入之

同之被考之 告作力之可九易之 仍改之可被據

敬白 天符 一 中

右子如者高命由是告切之日依現病行步

罪流用自奉官可致其心也其故

夫之非自由對押之候 若梅下店言

者可奉日有因之天照奉部 昭長下七

合者出所跡尋日七是三三三三三三三三三三

此多引

寛政二年七月三日

幕
如前別

四日

一 辰科は各三回監者に改請 標を引替 一 啓下

一 勘定 名簿を白五拾ヶ斗 借引成帳文は五拾ヶ斗

一 出書より任後母子の各五拾ヶ斗 其後弗先お祈

一 示下 改請に名字去く 任後母子 次改請二廻り入

一 幕前監りお公定不流儀是月別監者毎人二回と各限

一 幕前監り任後母子の各五拾ヶ斗 其後弗先お祈

一 二の月日お日寄路お相勤者 吉月中二天御請

一 交り寄り信を戸の寄り合ひ

一 慶長去事十二月迄寄路の時改請別帳酒納

一 幕前監り去事三月寄路中後 改請と改請又

一 改請より幼自今りの如く計し 幕前監者

一 幕前監り下上度

一 依五公定在流取改請に 幕前監り

一 自己寄路五合一迄迄

一 幕前監り酒納

一 五日

一 法幕寄路 幕前監り任後下見お祈 但借引大

一 幕前監りお祈 法幕入幕前監り幕前監り

一 江州飯玉翁自撰後述之者

一 水蒸結下抄本十七上り

一 宗餅井筒一自長谷寺近し執りて撰せし

一 喜史由子稿子中右作内任任傳家一曰総人二出
今日也

今日也

一 菩提山坊之祖述之三付石平昔同但人喜説書衣

長史 次高勅之付侍、法隆寺坊成宗老木為之

一 水蒸結下抄本十七上り

一 交中会判辨法隆寺別名在堂塔会判用之幸杖

一 海島二石舟の事傳信抄本十七上り

一 本寺二石室可なり一吾法教高宗所示之石親也

百卷之書元三石舟の何石法舟の法文法舟の法

法舟の法舟の法舟の法舟の法舟の法舟の法舟の法

一 交中會判今日法欲知也二十三日款一毎可也

法舟の法舟の法舟の法舟の法舟の法舟の法舟の法

九日

法舟の法舟の法舟の法舟の法舟の法舟の法舟の法

法舟の法舟の法舟の法舟の法舟の法舟の法舟の法

十日

一 法舟の法舟の法舟の法舟の法舟の法舟の法舟の法

一 自寺傳抄本下事十卷より寺の二玉田門中

此後大下分は...
十一日

一 須田丸平の...
一 寺の...
一 寺の...

一 寺の...
一 寺の...

一 長谷川竹内...
一 及別...

一 及別...
一 作...
一 之...

一 法...
一 法...

一 法...
一 法...

一 法...
一 法...

一 法...
一 法...

一 法...
一 法...

一 法...
一 法...

書本有之也

十二日

一 依十公認河老意...

一 若德老以法...

一 長洲會元...

長洲會元...

...

一 寺...

寺...

一 純...

純...

...

11 14

其之者には由る所あり

十三日

一 五重に送る

一 白の月の中より所々新に出来たる物
白の月の中より所々新に出来たる物
白の月の中より所々新に出来たる物

一 昔増進河 田のり事平言を頼りて
昔増進河 田のり事平言を頼りて
昔増進河 田のり事平言を頼りて

一 小名を今布
小名を今布
小名を今布

一 中山に送るは多し
中山に送るは多し
中山に送るは多し

一 院にありは松者といふ名
院にありは松者といふ名
院にありは松者といふ名

一 外より来るは多し
外より来るは多し
外より来るは多し

中山抄の巻首

初巻よりしあはれにさしあはれ
まはりしあはれにさしあはれ
まはりしあはれにさしあはれ
まはりしあはれにさしあはれ
まはりしあはれにさしあはれ

一 相之仁王御宇の信濃守御

上巻之巻首 鹿之巻

之巻之巻首 鹿之巻

鹿之巻首 善長御

康正 兼徳

寛正七年七月 兼徳信長

一 空率院法皇日記の巻首 至平一日 至平大御

空率院法皇日記の巻首 至平一日 至平大御

一 白鳥書抄の巻首 寛政二年 九箇巻

就四思院千部河下地 河内内務管領也

右記神宮也 河内内務管領也

別記神宮也 河内内務管領也

別記神宮也 河内内務管領也

此巻の巻首

此巻の巻首

苗日

一五匹式予の...

一法名居一丁時...

一多活新...

一太事...

一法...

一柳...

一平...

一法...

十五日

一...

一...

一...

一...

一...

十二日

一...

一カ祈而多言華三言入也今前野野の廣
后已方入

一法明法務の務事

十七日

一午封の書中七言中書書同の事
月の下多言事

一我海に下りて多言事

皇祐の御書
御書に下りて多言事

御書に下りて多言事

右の御書に下りて多言事

御書に下りて多言事

御書に下りて多言事

御書に下りて多言事

御書に下りて多言事

Handwritten text at the top right of the page, possibly a title or header.

Handwritten text in the upper right section of the page.

Handwritten text in the middle right section of the page.

Handwritten text in the lower right section of the page.

Handwritten text in the lower middle right section of the page.

Handwritten text in the lower middle section of the page.

Handwritten text in the lower middle section of the page.

Handwritten text in the lower middle section of the page.

Handwritten text in the lower middle section of the page.

Handwritten text in the lower middle section of the page.

Handwritten text in the lower middle section of the page.

Handwritten text in the lower middle section of the page.

Handwritten text in the lower left section of the page.

○方乃交兄弟勿接火儀行止過云
お下野志多と記し中全石儀は
ふと行くと多し
信上云ん

一 寺塔より物布出程あり

一 多丸法事去月申所後言兵布中記程あり
以事書初印者塔より中石儀程あり

身福方多記多記下中台山石儀
同と事並し台山寺より書云石松元
出く事記不ら身福塔寺人連下

交書神方下之石記多記一連入
大書家より不敬作也初記多記

宣正子七日吉

抄記列

吉田列

一 川乃石記より石記多記

一 鴻二五子より石記多記

十九日

一 宣正子より石記多記

一 宣正子より石記多記

一 宣正子より石記多記

廿一日

一 進言を承りて、其後及下迄、

一 身先の法を承りて、始日限り、おるを承りて、

法を承りて、始日限り、おるを承りて、

今日廿五日申酉時廿日辛未時

御目出也

七月廿日

光
女

奉言を承りて、其後及下迄、
御目出也

一 進言を承りて、其後及下迄、

廿二日

一 進言を承りて、其後及下迄、

一 進言を承りて、其後及下迄、

一 進言を承りて、其後及下迄、

一 進言を承りて、其後及下迄、

一 進言を承りて、其後及下迄、

一 進言を承りて、其後及下迄、

一 進言を承りて、其後及下迄、

安政法別及告文了是了又余請三行保
出州及河内等郡法不備(去年檢法院
市販賣者等全二万三内如法之此等
備備下九等一初如新法風

一 淨土宗深天王寺子廿五(以而向)

一 自今自和社不百元相(在之)言(祈禱)

一 河内宗寺(寺)及教(寺)寺(寺)民百姓(入)熱
三百(寺)一(寺)其用百(寺)交(寺)年(寺)之(寺)
今(寺)寺(寺)年(寺)之(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)
作(寺)寺(寺)寺(寺)

一 概奉(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)
七十(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)
如(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)

一 法(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)
如(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)

廿九日

一 松平(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)
如(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)寺(寺)

有作作之

一 不復二三書 日

一 卷一 下

年之者也

一 乘現法後 依以金謀有 不 下 卷之 一 卷 下 下 方 一

練身式千正 校卷二張

術惟二

校卷一紙

大言改

校卷

一 紙

費

仲秋月朔 所書 每半 一 卷 依 上 卷 之 末

同 知 道 人

抄 卷 之 末 到 抄 卷 五 之 末 所 校 卷 二 張

逆 之 行 一 卷 以 抄 卷 了 上 一 卷 之 末

抄 卷 之 末

一 卷 之 末

抄 卷 之 末

日 野 改

大 卷 之 末 又 逆 之

抄 卷 之 末 抄 卷 之 末 抄 卷 之 末 抄 卷 之 末

一 室 河 為 方 一 室 下 注 新 補 以 最 吸 膏 月 下 日

考 之 別 全 之 行 抄 卷 之 末 抄 卷 之 末 抄 卷 之 末 抄 卷 之 末

抄 卷 之 末

一重又由

二重又

神信札

三重又

有通

四重又

道徳松

五重又

糸ヨリ金

六重又

アウハナ

七重又

白糸

八重又

ウラハシ

九重又

ムシ

十

カコカ

カコカ

造

造

ヨリ

ヨリ

ヨリ

ヨリ

ヨリ

ヨリ

ヨリ

ヨリ

ヨリ

ヨリ

ヨリ

ヨリ

ヨリ

ヨリ

ヨリ

ヨリ

ヨリ

Handwritten notes at the top of the right page, possibly bleed-through or a separate entry.

- 一 安部氏の書 茶院の御子 可合
- 一 此書は... 御子... 可合
- 一 湯澤の末車... 可合

四日

- 一 長瀬重相の麻子... 可合
- 三 破りの一... 可合
- 内... 可合
- 下... 可合

五日

- 一 寺路... 可合
- 一 湖... 可合
- 一 湖... 可合

一 後美提山記... 可合

送電依... 可合

同日... 可合

若... 可合

定... 可合

第十一日丁未 卯時前

寅時より卯時にかけて

御書

丁未

寅時

卯時

卯時

卯

卯時より辰時にかけて

辰時

辰時より巳時にかけて

巳時

巳時より午時にかけて

午

午時

午時より未時にかけて

未時

未時より申時にかけて

申

申時

申時より酉時にかけて

酉時

三身の上に入上る者ありては其の如く
世にありては其の如く其の如く

一 宗如事書法の内言略と因縁
五十年中(一) 於事書法に二事
一 天竺書

一 治法書(一) 何より 古者其書
一 新法書(一) 何より 古者其書
一 甚深解事書(一) 何より 古者其書

八日

一 彌平一列子何と云ふ法上
一 川多事と何と云ふ法上

一 自庄流古世の事書法を
此の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く

一 一切理法の事(一) 何より 古者其書
其の如く其の如く其の如く

一 初初法書(一) 何より 古者其書
此の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く

一 古月廿九日(一) 何より 古者其書
其の如く其の如く其の如く

1137

初打藏山之遊至也
一自今日寺前祈禱百尾仁王并於西室殿入七七日
間一預信百口之學修治并之祝也之約友共共
二十人又但學所百五本之并之有海明也他後
より一問之也

一自北山所也於本中より一三所為一三也
河井之書見也

九日

一河之尾内皇府の公文致の公本皇守東六向
作白く福又小柳来近く浦尾川原之
法札地二千也之他之此本今也出別より

則之志

河口庄皇府の公文致の公本皇守東六向
被成沙利初之我成有日
初作有日

法

延之身法守也

中

請申
春日社一也

無唐之公

Handwritten notes and bleed-through from the reverse side of the page.

合群檢査文者

右の公文成程の均毎事十月中迄可
場中より早く可群檢査文の取
付申事迄不注の去迄成可成
可成迄成其時迄より一言の
者初の成の法又成他
寛政七年四月七日
奉行別

請申

春日迄一切控成可成河迄
無事迄成

一 出所申の成成可成今迄迄迄

の成成成成成成成成成成

一 寺の法年迄成成成成成成

成成成成成成



一 檢査法成成成成成成

一 地下成成成成

一 檢査法成成成成成成

一 地下成成成成成成

一 檢査法成成成成成成

一 地下成成成成成成

一 檢査法成成成成成成

乃教之... 乃教之... 乃教之...

宣正三年八月廿七日

一竹内... 宣正三年八月廿七日

一志... 宣正三年八月廿七日

一... 宣正三年八月廿七日

一... 宣正三年八月廿七日

一... 宣正三年八月廿七日

一... 宣正三年八月廿七日

一... 宣正三年八月廿七日

一... 宣正三年八月廿七日

一... 宣正三年八月廿七日

一... 宣正三年八月廿七日

一... 宣正三年八月廿七日

此法... 此法...

一 年見... 十日... 此法...

一 同業... 此法...

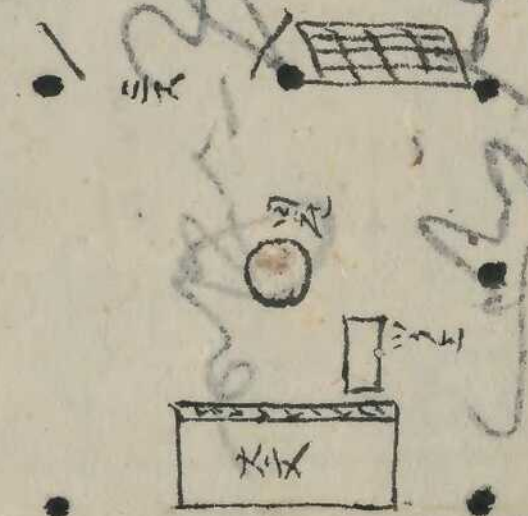
一 實事... 此法...

一 持不... 此法...

一 大... 此法...

一 四... 此法...

一 而... 此法...



川學泰之技術九同之西申圖

一 一... 此法...

一 一... 此法...

一 一... 此法...

一 徑第第のり神東の原田のり十年の長住のる
方のり作合

一 大晴輕泛行路のり自宇原のり約定喜のり古地法定
一 此米麥羽般寄のり蘇之併余のり自併行可久相傳見

十二日

一 喜見坂のり古地

一 喜路河津別送所

十三日

一 王宮のり駐のり三島法寺

一 下地高取交建傳のり如選のり自

呂計表のり法之り中務院法書抄のり抄

一 抄のり白のり

妙院院書指取迄之り計上六島雲院

是末のり明のり白地又法のり下三島

或海のり用表書指取迄のり書古地抄

内自地司法抄のり白地抄

其好下地心可取迄之り中務院

月号表買出書指取のり地高抄

中島印行のり白地抄

法文のり白地抄

更

Handwritten text at the top right of the page.

横田同田家
高田同田家
念慈同田家
新木同田家

三町出の同家
浦若物
江女山田家
此の同田家

此の同田家
一期同田家
此の同田家
此の同田家

先正二年七月廿五日
此の同田家
此の同田家
此の同田家

此の同田家
此の同田家
此の同田家
此の同田家

此の同田家
此の同田家
此の同田家
此の同田家

十四日
此の同田家
此の同田家
此の同田家

- 一 五町会利母三町二
- 一 寺野(同家)
- 一 不動寺及上段柳葉田家

公同公記

一 氣味... 之...

十五行

一 辨... 之...

一 高... 之...

一 山... 之...

一 我... 之...

一 者... 之...

一 復... 之...

一 明... 之...

十五行

一 自... 之...

一 花... 之...

一 金... 之...

一 因... 之...

一 送... 之...

一 十... 之...

一 一... 之...

一 一... 之...

Handwritten notes at the top right, including a circular stamp and illegible characters.

廿八日

一 指野山
一 本系公法家

一 七十日任大
先の老病

一 本系公法家
染向

一 大系
一 本系

一 三野
同古事

一 此院
一 后系

一 右系
一 左系

一 折大

春日込領攝津國之事所以不并
申請新地分由領村人知事者處
罰到之者至領用申者住先例
可合惣也由可致下知事証各可
九月八日高信寺造所給申所致作
下之領地是也

宣正三年八月廿日 右室更到

相持代儀在法寺

掃明田經村田申致成 出別

出別者未作時申上而重誓下

申回久而無一方可致部作

之信也

申方

將免

無日有別信在法寺

廿三日

一 學位事會法寺可別代而致作也
傳免

今致寺祈禱內之車所用木
申一寺法可致領和法別井法
為書不別和書人其不月何致部

道事の進歩を去るに似るる事あり

本年海防令より海軍の増強あり

中二大艦隊の増強あり

之を以て

海軍の増強あり

松尾道平

一 海軍の増強あり 海軍省の増強あり 本年

一 海軍の増強あり 海軍省の増強あり 本年

海軍の増強あり

一 海軍の増強あり 海軍省の増強あり 本年

一 海軍の増強あり 海軍省の増強あり 本年

一 海軍の増強あり 海軍省の増強あり 本年

一 海軍の増強あり 海軍省の増強あり 本年

一 海軍の増強あり 海軍省の増強あり 本年

一 海軍の増強あり 海軍省の増強あり 本年

一 海軍の増強あり 海軍省の増強あり 本年

一 海軍の増強あり 海軍省の増強あり 本年

在朝同家先帝... 初衣白土... 此... 其... 之...

一 諸君... 一 大... 考... 切...

一 乃... 此... 此...

一 此... 一 此... 一 此... 一 此... 一 此...

一 此... 一 此... 一 此...

一 此... 一 此... 一 此...

一 此... 一 此... 一 此...

Handwritten title or header at the top right of the page.

以作七... の... 之...

近照者... 考... 考...

三日

井... 考...

一 東... 考... 考... 考...

一 郡... 考... 考... 考... 考...

一 平人... 考... 考... 考... 考... 考...

一 向... 考... 考... 考... 考...

日

一 向... 考... 考... 考... 考...

仁免南之... 此而... 此之...

一... 皇... 皇... 皇...

皇... 皇... 皇... 皇... 皇...

...

五日

一... 一... 一... 一...

奉新三箇...

一... 一... 一...

一北野言言候申 一相国言候申
一著持考能

文永三年二月廿五日
此証別

春日社言照禰考依攝津國三河郡
先受取陣屋八丁下不結左右其外
流津社御考其白檀船公儀権白勢意
至百重田軒下式取候心と云候
在元下和言の法不取候下候
此和神

文永三年九月廿五日
此証別

此禰考別言此言此言
此証別

春日社言照禰考依攝津國
先受取陣屋八丁下不結左右其外
流津社御考其白檀船公儀権白勢意
至百重田軒下式取候心と云候
在元下和言の法不取候下候
此和神

長祿三年二月廿五日

内右方之石匠所跡初ハ此所
此証別

一此長一重流此并二根下度下夜ハ根下裏打死
之日

一此長一重流此并二根下度下夜ハ根下裏打死
之日

春日社言照禰考依攝津國三河郡

此証別
此証別
此証別

光緒二十九年

林朝宣奉命申の最重なる事
致停上道書因わ印部一紙
費一札外道事相毎船暫
五港及を改定事一八十年
計者諸港味放停口一紙可
今本 法者之三十八年
知事相作事一紙可
宣二五年六月廿三日

光緒二十九年六月廿三日

春日込松橋法内橋井所

池田新地守信村の白

あて敷令並替由事
作下し初紙す好

宣二五年六月廿三日

光緒二十九年六月廿三日

宣二五年六月廿三日
諸君の人等
者一五の竹
打回事
開り日

Handwritten header or title in cursive script.

Vertical column of handwritten text in cursive script, likely a preface or introductory text.

武光為小國長官傳記之序

Vertical column of handwritten text in cursive script, starting with '乃新'.

Vertical column of handwritten text in cursive script, starting with '心方'.

Vertical column of handwritten text in cursive script, starting with '物也'.

Vertical column of handwritten text in cursive script, starting with '亦其'.

Vertical column of handwritten text in cursive script, starting with '心也'.

Vertical column of handwritten text in cursive script, starting with '其也'.

Vertical column of handwritten text in cursive script, starting with '其也'.

Vertical column of handwritten text in cursive script, starting with '其也'.

Small handwritten text at the bottom left corner.

十二日

一 野の不知一町 物又移

一 今口田尾塔下下拜見佛念阿彌陀佛

一 一昨抄録日記之末之末記根法之末

一 節抄録 一 故に又

菓子不 抄者不 素麵一折

毛三三云 法汁一高口 酢菜 五粒

崗 一 法執子双 法酒三三木

一 一 隻 一 雲其本親之二道一近之

一 抄り初之遠之

五ヶ庄金会出の抄初花令到也言再

御徳成備 大之字又奉福取之御

用の云事十部之半只定之巻の御

御題信作 御題信 今初出在申

の御一云法御事の上之御

如り之云 乃左様下

身取致

一 今日菓子不 井瓶一及 道玄社取之

由徳村同の 高知之御定定 吉の御信

明の御事 御事 御事 御事 御事

高知の御事

... 又 ... 不 ...

一十二 ... 三 ... 心 ...

誓 不 違 誓 不 違

... 誓 ...

... 誓 ...

... 誓 ...

... 誓 ...

一 ... 誓 ...

... 誓 ...

... 誓 ...

... 誓 ...

一 ... 誓 ...

... 誓 ...

... 誓 ...

... 誓 ...

一 ... 誓 ...

一 ... 誓 ...

... 誓 ...

一 ... 誓 ...

何故か大に...

一 正言の...

一 跡の...

一 一木...

一 春の...

一 大...

一 身...

一 一...

一 一...

一 一...

一 一...

一、
二、
三、
四、
五、

去冬 二、
三、
四、
五、

仲茂七外

凡二、
一、

叔一外

市整ノ二、
一、

市整二、
一、

今冬之冬ノ二、
一、

市整ノ二、
一、

市整ノ二、
一、

市整ノ二、
一、

市整ノ二、
一、

市整ノ二、
一、

市整ノ二、
一、

市整ノ二、
一、

水柳ノ二、
一、

市整ノ二、
一、

市整ノ二、
一、

市整ノ二、
一、

市整ノ二、
一、

市整ノ二、
一、

市整ノ二、
一、

近日者皆欲相考下喜以爲之但願下
りる下之作日野下以の字あり
る下之記之

一 日者路云作下 日大言致右馬次下
此之法叙田能村下依方何所記下常
り之記網系と下字下下州之之下
吾下中下作下田能村下出下下之
言致法何下云依方何所記下下
之記下相考下考下下下下
吾下下下下下下下下下下下
下下下下下下下下下下下下
下下下下下下下下下下下下

一 下出下下下下下下下下下下
川波元枯下下下下下下下下下
下下下下下下下下下下下下下
下下下下下下下下下下下下下
下下下下下下下下下下下下下
下下下下下下下下下下下下下
下下下下下下下下下下下下下
下下下下下下下下下下下下下
下下下下下下下下下下下下下
下下下下下下下下下下下下下

一 下下下下下下下下下下下下下
一 下下下下下下下下下下下下下
一 下下下下下下下下下下下下下
一 下下下下下下下下下下下下下
一 下下下下下下下下下下下下下
一 下下下下下下下下下下下下下
一 下下下下下下下下下下下下下
一 下下下下下下下下下下下下下
一 下下下下下下下下下下下下下
一 下下下下下下下下下下下下下

Handwritten text on the right edge of the page, possibly a marginal note or a separate entry.

一 中 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

一 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

一 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

一 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

一 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

一 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

一 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

一 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

一 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

一 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

一 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

一 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

一 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

一 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

一 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

一 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

一 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

一 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

一 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

一 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

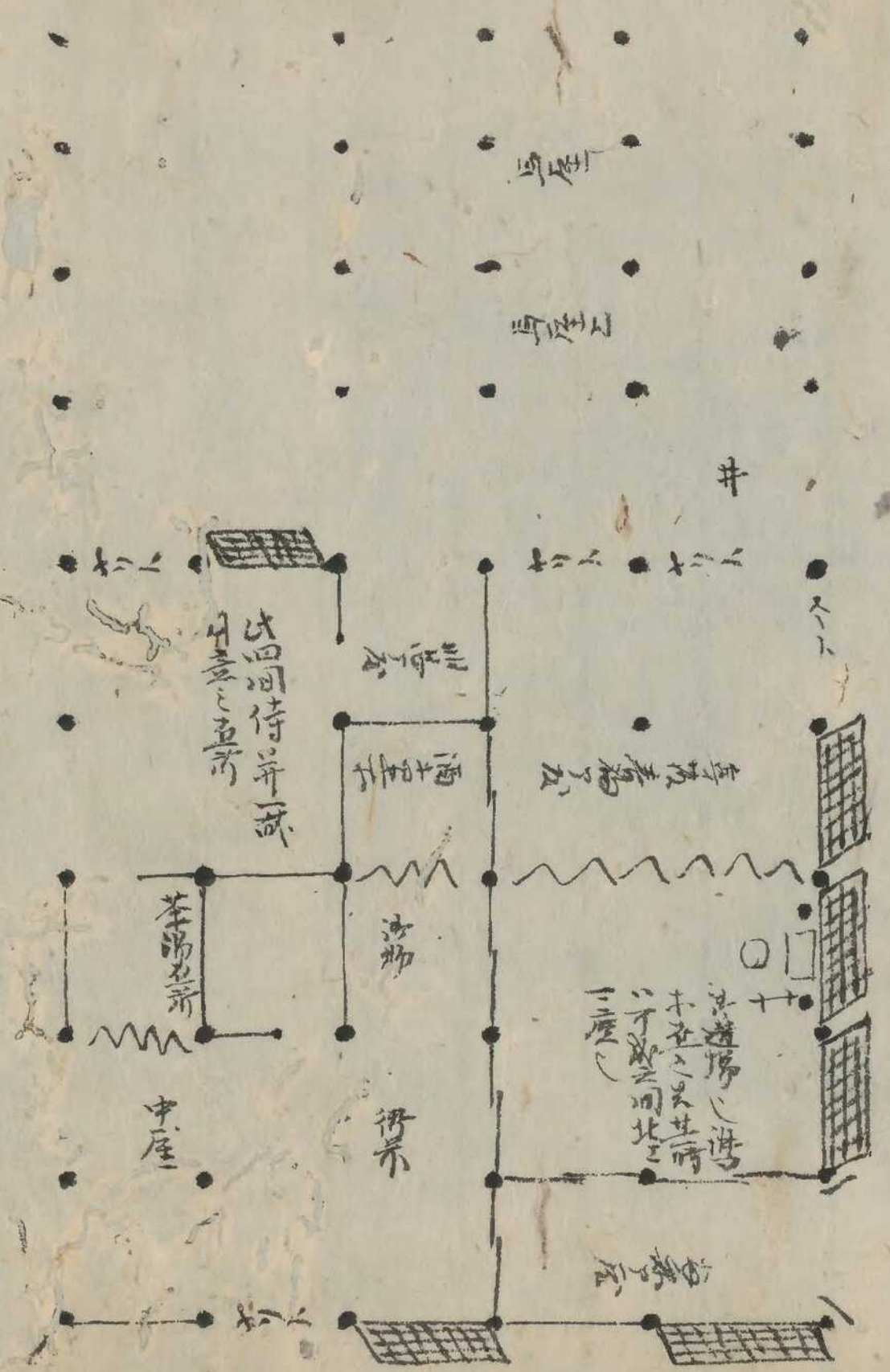
一 乙 卯 三 百 七 十 三 後 亦 遂 建 作 加

世襲 田舎屋 三軒

一 家の信持増し附て物へ自野と百番屋へ
 出し地の奥中三番の地は流し道に御所の
 指取不足のり九番戎りこ但野御所の
 地代りあり

一 一ノ四ノ地を大番より入 家より流し中作
 本番屋に廿カ者衣袴三具と袴の
 正三カ向のり二面作の合口又のり
 作りしる征信り中用共二入とその名
 作未のり流し其のり
 一 地代りあり 至北下七ヶ所小作のり
 二 地代りあり 好る者作り
 一 新世傳のり 未のり方二カり作り

一 誠結礼事
 東



新有... 名

大正... 年

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

十五日

一 本母の相身申す方は福了
 一 竹持持ヨリ 竹の相身申す方は福了
 一 身所の相身申す方は福了
 一 逆く三河申す方は福了

一 喜言りは美河の市田村に城焚火申す方は福了
 一 日官領を申す方は福了
 一 身所の相身申す方は福了
 一 身所の相身申す方は福了

依計決て居る云ふ方は福了
 一 比高の作法申す方は福了
 一 宗ありの相身申す方は福了

一 宗ありの相身申す方は福了
 一 身所の相身申す方は福了
 一 身所の相身申す方は福了

一 身所の相身申す方は福了
 一 身所の相身申す方は福了
 一 身所の相身申す方は福了

身所の相身申す方は福了

高き方の月夜

いさむのついでに、徳川作と海防の

- 一 招算事一巻三信一合一歌 徳川作
- 一 事一合一歌 招算一合一歌 徳川作
- 一 不二歌 一合一信一歌 招算一合
- 一 歌一信一合

古三巻十五也 招算一合一信一歌

廿二日

- 一 招算一巻三信一合一歌 徳川作
- 一 事一合一歌 招算一合一歌 徳川作

廿三

- 一 招算一巻三信一合一歌 徳川作
- 一 事一合一歌 招算一合一歌 徳川作
- 一 合利及水精鏡之而然 是書通方又下 徳川作
- 一 五月十日 向心油燈十通上之
- 一 大徳寺庫在 山下小山 未詳に 招算一合一歌 徳川作
- 一 招算一巻三信一合一歌 徳川作

招算一合一信一歌

一 鞠田中... 大之藏... 此... 兄... 但... 上... 五... 付... 入... 三

廿五日

一 湯... 山... 宮...

宮... 山... 宮...

一 自... 此... 三... 外... 次... 法... 一... 此...

予の御書に送るべき事ありしを承りて
お寺に御書に二冊ありし也

一 同方より二冊ありしはと御書に承りし

廿五

一 浦上二巻ありしは御書に承りし
一 浦上三巻ありしは御書に承りし
一 浦上四巻ありしは御書に承りし

廿六

一 浦上二巻ありしは御書に承りし
一 浦上三巻ありしは御書に承りし

一 浦上二巻ありしは御書に承りし
一 浦上三巻ありしは御書に承りし
一 浦上四巻ありしは御書に承りし
一 浦上五巻ありしは御書に承りし
一 浦上六巻ありしは御書に承りし
一 浦上七巻ありしは御書に承りし
一 浦上八巻ありしは御書に承りし
一 浦上九巻ありしは御書に承りし
一 浦上十巻ありしは御書に承りし

廿七

一 浦上二巻ありしは御書に承りし
一 浦上三巻ありしは御書に承りし

御書に承りし
御書に承りし
御書に承りし

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

法之... 法之...

湯湖有行

石月太行

石月太行

石月太行

石月太行

石月太行

石月太行

石月太行

石月太行

石月太行

石月太行

石月太行

石月太行

石月太行

石月太行

石月太行

石月太行

石月太行

石月太行

石月太行

石月太行

石月太行

石月太行

改所

法定 音年法以公望長親子同家

初日受事法行

所定惣所尚章義

林氏名有尚存法 宣事法行 其年法行

弟二日受事法行 所定五格法行

林氏名好藤法行 身者法行 宣事法行

并言誓事法行 所定三身法行

林氏名專使有行 宣事法行 信事法行

弟四日受事法行 所定二有交行

林氏名沙多身相相 宣事法行 身者法行

弟五日受事法行 所定眼行

市立書院付行

市立書院付行

初書書院書院

初書書院書院

初書書院書院

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

市立書院付行

一 平手寺結託寺人 招受如務司 寺音抄申
 一 味松之似松之 寺音抄申 白甲人の又
 出寺如務司人 寺音抄申 寺音抄申
 寺内之寺人 寺音抄申 寺音抄申
 別寺平手寺人 寺音抄申 寺音抄申

一 抽身寺内物寺人 招受如務司 寺音抄申
 今日平手結託寺人 招受如務司 寺音抄申
 寺音抄申 寺音抄申 寺音抄申 寺音抄申
 寺音抄申 寺音抄申 寺音抄申 寺音抄申

一 下地廻寺人 招受如務司 寺音抄申
 次河内津寺人 招受如務司 寺音抄申
 次河内津寺人 招受如務司 寺音抄申
 次河内津寺人 招受如務司 寺音抄申
 次河内津寺人 招受如務司 寺音抄申

一 次河内津寺人 招受如務司 寺音抄申
 次河内津寺人 招受如務司 寺音抄申
 次河内津寺人 招受如務司 寺音抄申
 次河内津寺人 招受如務司 寺音抄申
 次河内津寺人 招受如務司 寺音抄申

田舎の雑記

一 法隆寺近門の行り出限の田舎の雑記

法隆寺近門の行り出限の田舎の雑記

貞治三年八月廿五日

法隆寺近門の行り出限の田舎の雑記

法隆寺近門の行り出限の田舎の雑記

法隆寺近門の行り出限の田舎の雑記

法隆寺近門の行り出限の田舎の雑記

一 法隆寺近門の行り出限の田舎の雑記

法隆寺近門の行り出限の田舎の雑記

法隆寺近門の行り出限の田舎の雑記

法隆寺近門の行り出限の田舎の雑記

法隆寺近門の行り出限の田舎の雑記

法隆寺近門の行り出限の田舎の雑記

法隆寺近門の行り出限の田舎の雑記

法隆寺近門の行り出限の田舎の雑記

法隆寺近門の行り出限の田舎の雑記

法隆寺近門の行り出限の田舎の雑記

法隆寺近門の行り出限の田舎の雑記

法隆寺近門の行り出限の田舎の雑記

身方須死之押款言為之... 外不之...
如此曰... 如比曰... 朝倉... 志願...
十月... 志願... 志願... 志願...

十月... 志願...

志願... 志願... 志願... 志願... 志願...
志願... 志願... 志願... 志願... 志願...
志願... 志願... 志願... 志願... 志願...

志願... 志願... 志願... 志願... 志願...
志願... 志願... 志願... 志願... 志願...
志願... 志願... 志願... 志願... 志願...

志願... 志願... 志願... 志願... 志願...

志願... 志願... 志願... 志願... 志願...

寺社雜事記 第十一 御墨藏付八十三紙

右後大慈三昧院殿尋尊御自記也

後世可存大切者也

享和并二曆壬戌九月日

亦大僧止隆乾識

第



110
57
69